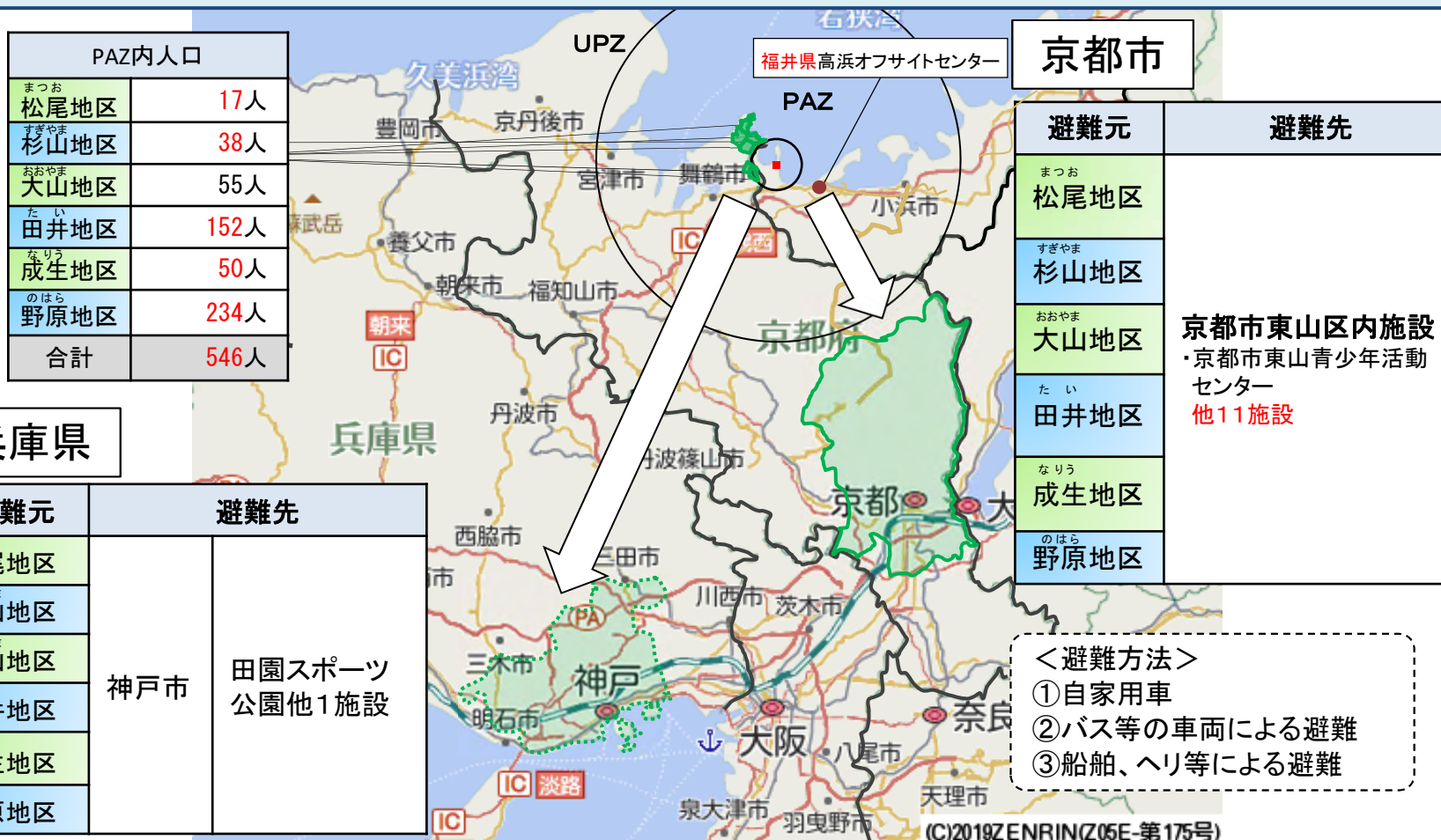
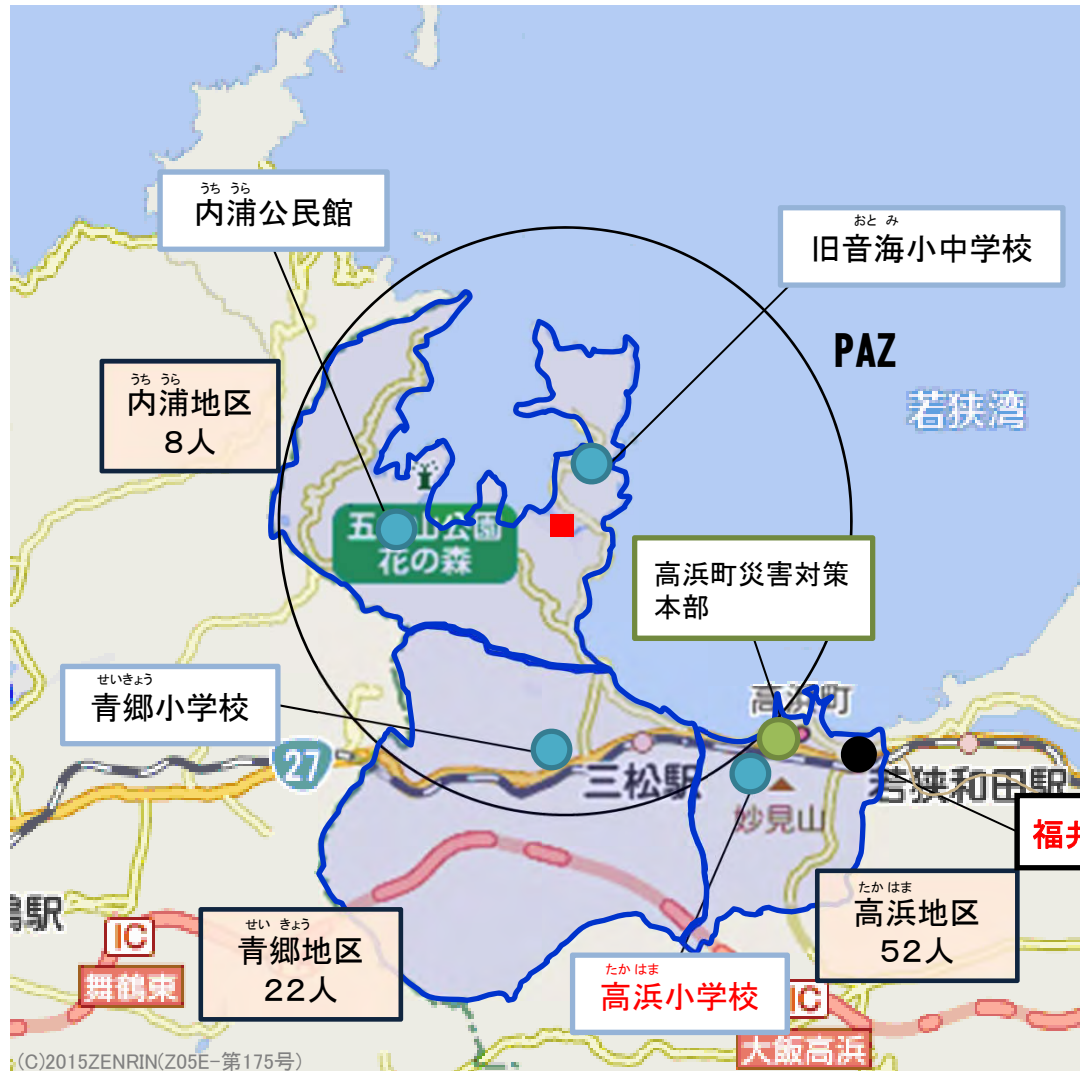


舞鶴市におけるPAZ内の住民の避難先

- 舞鶴市の6地区(松尾地区、杉山地区、大山地区、田井地区、成生地区、野原地区)住民の避難先については、京都府内及び府外(兵庫県)において避難先を確保。いずれかの避難先を決める際には、避難先の準備状況、避難先までの移動距離や時間、道路状況の他、気象庁から提供される気象情報などを考慮する。
- 6地区における避難先については、自治会等の単位で、**普段から**避難計画に関する**広報や訓練等**を通じて対象となる住民に周知。



➤ 高浜町によるアンケート調査の結果、高浜町の3地区における自家用車で避難できない住民は全7,651人のうち82人。

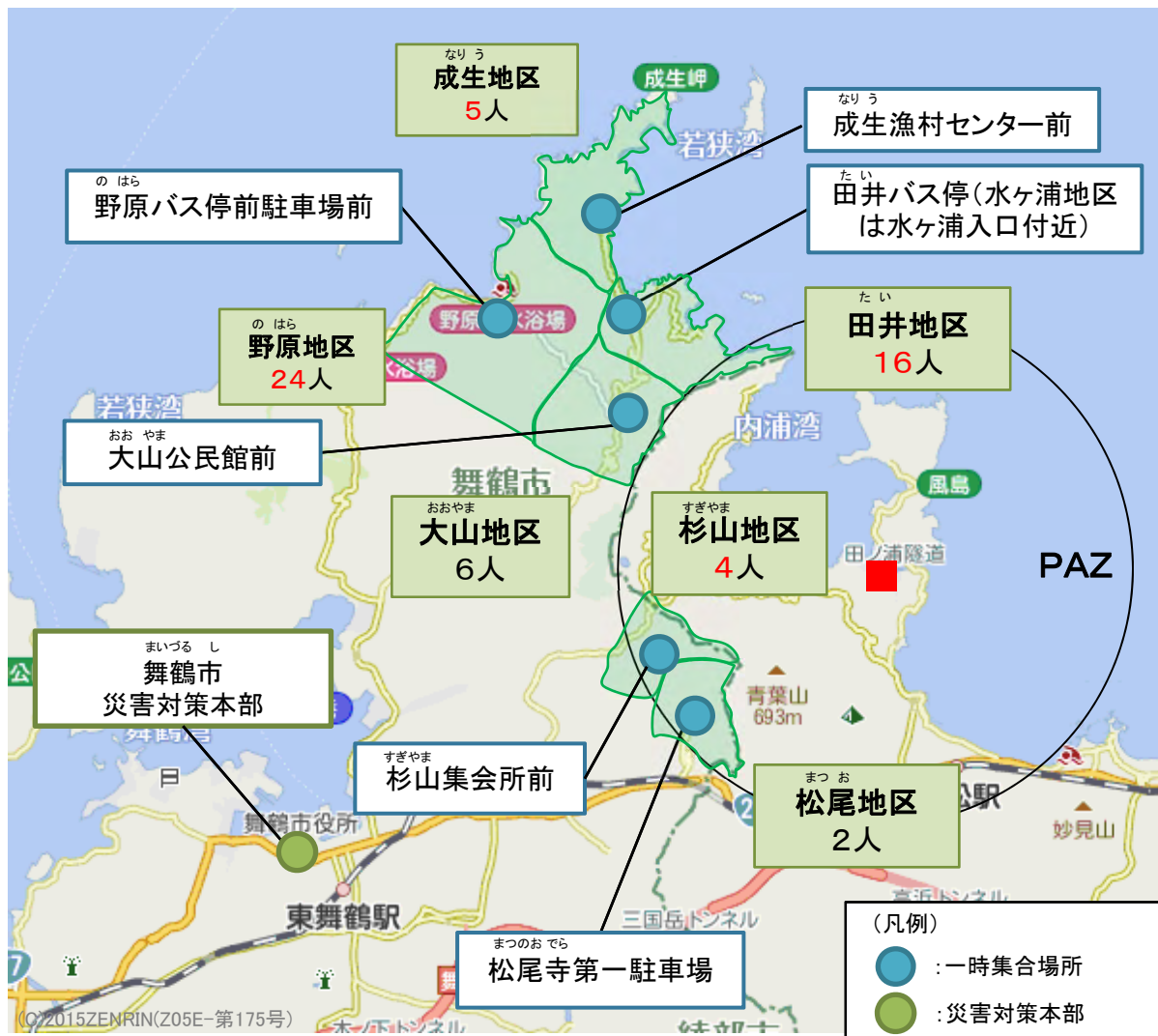


PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
内浦地区	652人	8人
青郷地区	2,506人	22人
高浜地区	4,493人	52人
合計	7,651人	82人

※人数は31年4月1日現在

※高浜町においては、アンケート結果による数値

➤ 舞鶴市による想定では、舞鶴市の6地区における自家用車で避難できない住民は全**546人**のうち**57人**。



PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
まつお 松尾地区	17人	2人
すぎやま 杉山地区	38人	4人
おおやま 大山地区	55人	6人
たい 田井地区	152人	16人
なりう 成生地区	50人	5人
のほら 野原地区	234人	24人
合計	546人	57人

※人数は平成31年4月1日現在

※舞鶴市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定

たか はま ちょう

- 高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民82人分、バス2台。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方れいなんのバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ^{※1}	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	82人	2台	1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P50】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜高浜町において全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		2台	
(B) 確保車両台数		計2台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方 <small>れいなん</small>]	1台	保有車両台数 バス193台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

- 舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民**57**人分、バス**5**台。
- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市が保有するバスのほか、舞鶴市内のバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	57 人	5 台	・避難対象となる6地区それぞれにバスを向かわせる想定 ・1台当たり45人程度の乗車を想定 ・全住民の1割が自家用車で避難できないと想定【資料P51】

＜舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		5 台	
(B)確保車両台数		計 5 台	
確保先	まいづるし 舞鶴市	3 台	保有車両台数 バス3台
	まいづるし 舞鶴市内のバス会社	1 台	保有車両台数 バス 80 台(乗合含む) タクシー 92 台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力	1 台	保有車両台数 バス10台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

高浜町内浦地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。



高浜町青郷地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。

